

大学の世界展開力強化事業（平成 29 年度採択）中間評価結果

| | |
|-------|------------|
| 大 学 名 | 北海道大学、新潟大学 |
| 整理番号 | BR01 |

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

| | |
|---|---|
| 総括評価 <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div> | これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。 |
| コメント | <p>本プログラムは、日露間の連携強化を実現すべく、諸活動を担う地域エキスパートである高度職業人を育成する日露共同教育プログラムの確立とその実施支援組織の整備が不可欠な課題について北海道大学と新潟大学が連携し、両国の経済連携強化に資する幅広い人材育成と学術振興を目的とする産官学連携のプラットフォーム構築を目指している。</p> <p>日本側の2大学とモスクワ大学、太平洋国立大学が中心となり、両国にセントラル・オフィスやリエゾン・オフィスを設置することで、多彩な活動が推進できる体制を整備している。また、日露大学協会総会等を開催し、各種委員会設置や8項目の日露経済協力プランに対応する専門セクションを設置するなど、プラットフォーム構築プログラムとして順調に進捗している点は高く評価できる。2018年度までに数多く開催したイベントの中で、日露産官学連携実務者会議は日本の大学等への波及効果を伴いつつ、両国の発展に寄与する活動を担っているほか、企業・団体からも寄附を募るなど、意欲も感じられる。さらに、各大学の取組や今後の計画等をリスト化し、新たな事業の提案や既存事業の発展・展開を検討する上での基礎となる情報収集やデータ整理が行われており、今後これらを活用した一層の展開が期待できる。</p> <p>一方で、イベント開催に留まらない、日本の大学全体に裨益するような活動の提供が期待される。具体的には、ロシアの大学との交流実績のない、あるいは少ない大学に対するロシアの大学に関する情報提供や、学生交流、研究交流、語学研修等の実施を模索する大学同士のマッチングを行うなど、交流活動に関する相談や助言が可能な窓口の開設等の交流普及活動が望まれる。また、留学を希望する日露双方の学生が必要とする情報が容易に得られるポータル・サイトの提供も期待される。加えて、プラットフォーム構築プログラムとしてのウェブサイトについては、ロシア語での情報発信に一層の注力を期待したい。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の安定的な財源確保に努めるとともに、我が国と相手国の大学間交流の促進に向け、プラットフォーム構築事務局として引き続き積極的にプログラムを展開していくことを期待する。</p> |